

科目名	日常生活活動評価学演習	担当教員	山中正紀※ 小川峻一※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	1単位	演習

科目概要	本科目では、「日常生活活動学（理学療法）」および「日常生活活動評価学」で学んだことを基に、視聴覚教材を利用し、実際の臨床場面などで障がい者を有する動作能力の評価や動作分析を行い、実際の日常生活活動の評価方法を体験する。また、ケーススタディによる適切な訓練法や指導法、福祉用具や各種支援機器の活用方法を学習して、対象者の持つ生活上の問題を具体的に解決できる能力を養う。
学習目標	1. 各種疾患によって生じる日常生活活動（動作）障害の特徴を理解し、説明することができる。 2. 障害の特性を踏まえた日常生活活動の方法や介助方法を理解し、指導することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	演習 1	オリエンテーション	科目概要及び演習内容について理解する。	山中
2	演習 2	起居動作①	寝返り、起き上がり、立ち上がり動作等の介助方法を理解し、実践できる。	小川
3	演習 3	起居動作②	寝返り、起き上がり、立ち上がり動作等の介助方法を理解し、実践できる。	小川
4	演習 4	移乗動作①	移乗動作の介助方法を理解し、実践できる。	小川
5	演習 5	移乗動作②	移乗動作の介助方法を理解し、実践できる。	小川
6	演習 6	移動動作①	杖・松葉杖歩行、階段昇降、車いす操作等の介助方法を理解し、実践できる。	小川
7	演習 7	移動動作②	杖・松葉杖歩行、階段昇降、車いす操作等の介助方法を理解し、実践できる。	小川
8	演習 8	模擬疾患（片麻痺・OA）のADL①	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
9	演習 9	模擬疾患（片麻痺・OA）のADL②	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
10	演習 10	模擬疾患（片麻痺・OA）のADL③	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
11	演習 11	模擬疾患（片麻痺・OA）のADL④	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
12	演習 12	模擬疾患（片麻痺・OA）のADL⑤	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
13	演習 13	模擬疾患（大腿切断）のADL⑥	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
14	演習 14	模擬疾患（大腿切断）のADL⑦	各模擬障がいにおけるADLの特徴を模擬体験で理解する。	小川
15	演習 15	まとめ	各模擬障がいにおけるADLの特徴を整理し、実際のADLや評価につながる視点や考え方を深める。	小川

評価方法	レポート（90%）、受講態度（10%）
教科図書	編集伊藤利之、江藤文夫：新版日常生活活動（ADL）－評価と支援の実際－、医歯薬出版株式会社、2010 齋藤宏、松村秩、矢谷令子：姿勢と動作 第3版、メヂカルフレンド社、2010
参考図書	奈良勲、鶴見隆正：標準理学療法学専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第4版 医学書院、2012 細田多穂監修：シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト 改訂第2版、南江堂、2014
学習の準備	授業のテキスト当該箇所を読んでおくこと
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	山中正紀、小川峻一は、民間病院で日常動作における理学療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。